

ICT活用によるワークスタイル変革

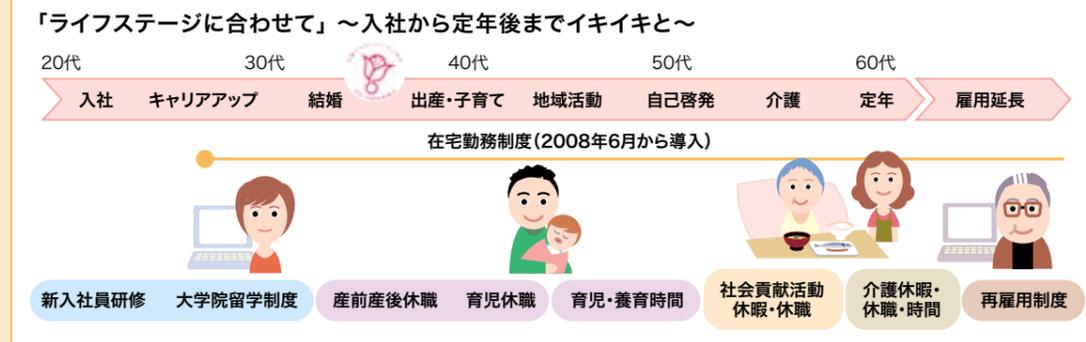
日本ユニシスグループは、本業であるICT分野を通じて、お客さまや社会に貢献していくばかりでなく、CSRに関わる社内の活動推進においても、積極的なICTの活用を進めています。なかでも、「社員の働きやすい環境づくり」や「環境負荷の削減」においては、従来からの取り組みに加え、ICTの活用によるワークスタイルの変革を通じて、より一層の活動推進をめざしています。

ICTの活用による、さらなる活動の推進

ライフステージに応じた“多様な働き方”の実現

各種人事制度の利用状況や社員からの声をもとに、既存の制度の見直しや新しい制度の施行・導入を継続的に進めています。2009年度は、2008年度に正式導入した在宅勤務制度について、社員ア

ンケートの結果などをもとに、制度を利用しやすくするための仕組みづくりを検討し、プロジェクトのフェーズなどに応じて月単位で在宅勤務利用を申請可能な制度（「Smart-Work」）を導入。これにより、それまで約50名であった制度利用者が約100名まで増えるなど、着実に効果が表れています。



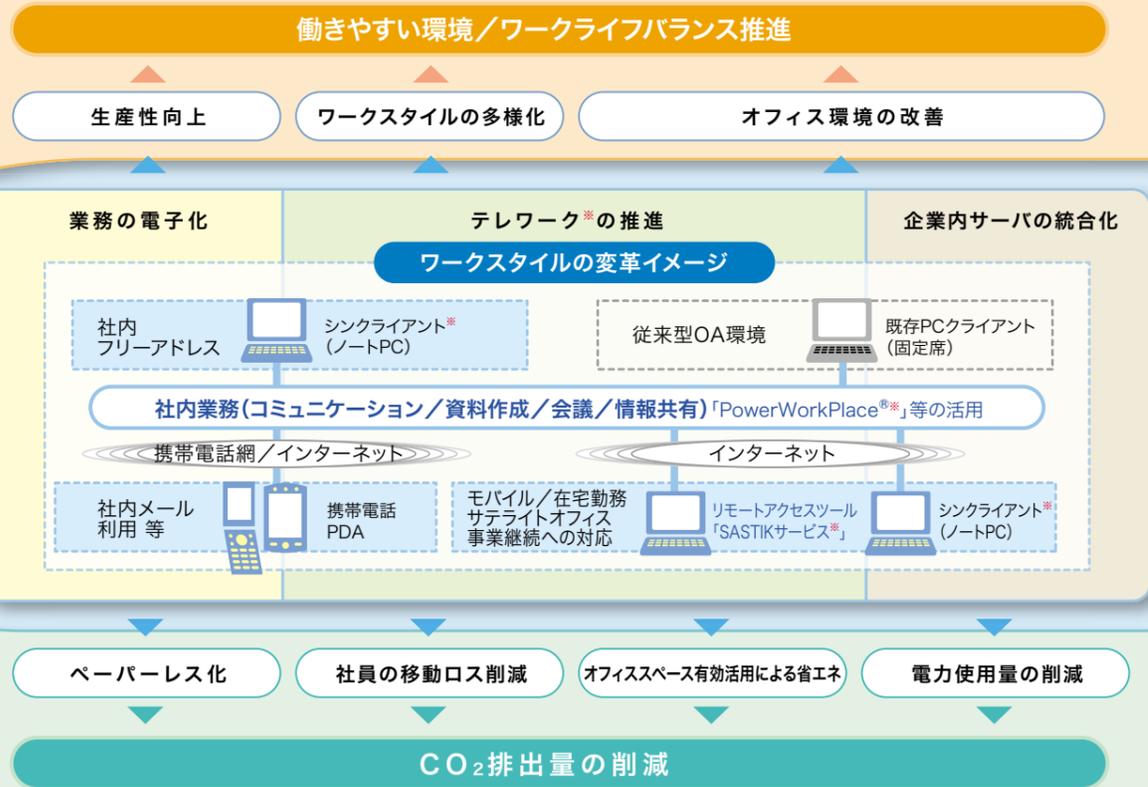
社員の働きやすい環境づくり

テレワーク※による在宅勤務環境の整備

制度の見直し・改訂とともに、テレワーク※による在宅勤務環境の整備を進めています。2009年4月以降に新型インフルエンザの感染が拡大した際には、シンクライアント※や「SASTIK®サービス※」などの利用による在宅勤務を「通常勤務」と認める方針を出し、

全社員が在宅勤務を利用可能な体制に移行しました。一方、社員が在宅勤務時や社外からイントラネットにアクセスするうえでの情報セキュリティ対策を徹底することで、セキュリティの観点からも“積極的な情報活用”を推進しています。

[URL](http://www.unisys.co.jp/csr/security.html) 日本ユニシスグループの情報セキュリティ対策
http://www.unisys.co.jp/csr/security.html



環境マネジメントシステムとISO14001認証取得

日本ユニシスグループでは、グループ企業全体の統括環境管理責任者のもと、組織長またはグループ会社社長がそれぞれの部門や会社の環境管理責任者を担当しています。また、各部門においては、EMS (Environmental Management System: 環境マネジメントシステム) 推進担当者およびエコリーダーが中心となって、日々の活動を推進しています。

2009年度の当社グループにおけるISO14001認証取得状況は、18社109サイト253部門となりました。また、当社グループは日本環境認証機構のサーベイランス審査において、「向上」の認定を受けました。

なお、当社グループの事業活動において対象とな

るすべての法規制などに関し、環境推進活動を開始した2002年度から2009年度まで違反はありません。



CO2排出量の削減

電力使用量の削減を中心として、グループ全体での事業活動を通じたCO2排出量削減に努めています。

2009年度の日本ユニシスグループにおけるCO2排出量は14,661トン（排出係数：0.378kg CO2/kWh）でした。これは、2008年度の13,769トンと比べて892トンの増加となりますが、要因として、2009年度より新たに事業所5カ所が集計対象に加わったことがあげられます。

[URL](http://www.unisys.co.jp/eco/topics.html) 日本ユニシスグループの環境活動
http://www.unisys.co.jp/eco/topics.html

環境負荷の削減に向けた活動

用語解説 テレワーク、シンクライアント、SASTIKサービス、PowerWorkPlace
※印の用語については、巻末折り返し部分(P.42)をご参照ください。 **P.42**

お客さまのソリューションセンターとして、海外製アプリケーションにはない日本の金融文化に特化したシステムを提供していきたいです。
(株)エイファス 泉澤 弥恵

企業の特許、技術評価に関わる情報提供を通じて企業の成長や価値向上を支援していくことが、自分にとってのCSRであると考えています。
エヌユー知財フィナンシャルサービス(株) 阪本 幸俊